

# 「大阪・関西万博とSDGsに関する意識」レポート & 乗り合い形式の訪問留置調査

## NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）のご案内

日本リサーチセンターの最新レポート「SDGsと大阪・関西万博に関する意識」（乗り合い形式訪問留置調査NOSで実施）の無料説明会をオンライン（Zoom）で開催いたします。

調査モニターではない、一般生活者に聞いたリアルなデータです。ぜひお気軽にご参加ください！

お気軽にどうぞ！

6月24日（木）

13：30～14：00

レポート無料説明会  
（Zoom）

\*お申込み締切：2021年6月23日（水）17：00

ご参加希望の方は、メールにて、ご氏名・ご所属・ご連絡先をSDGsリサーチ・プロジェクト担当（[nrc\\_sdgs@nrc.co.jp](mailto:nrc_sdgs@nrc.co.jp)）あてにお申込みください。折り返し、接続先URLをメールにてご案内いたします。ご都合が合わない場合はご相談ください。

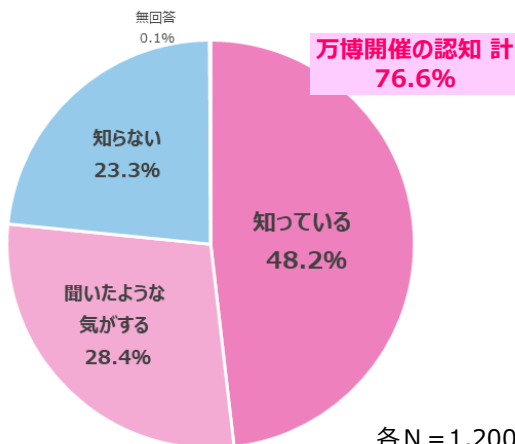
## 「大阪・関西万博とSDGsに関する意識」レポート

2025年に開催が予定されている大阪・関西万博。SDGsが大きなテーマの1つですが、生活者にはどのくらい浸透しているのでしょうか？

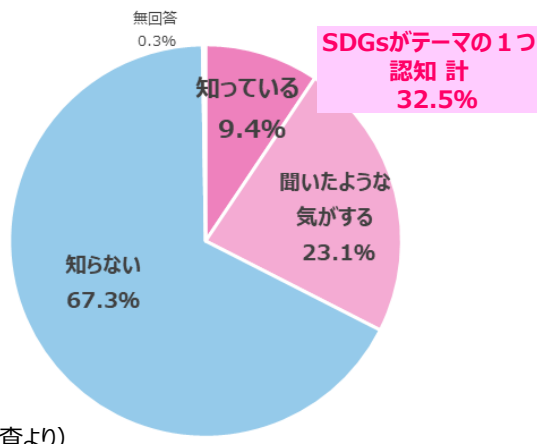
無料説明会では、「万博への来場意向」「見たい展示の分野」や、性別・年代別の違い、近畿エリアと他のエリアの違いなどに着目したデータなどもご紹介予定です。

「大阪・関西万博」の開催を「知っている」（48.2%）のは約半数、「聞いたような気がする」を合わせた『認知計』は76.6%と4人に3人が認知しています。一方、SDGsが万博のテーマの1つであることを「知っている」（9.4%）のは1割ほどで、『認知計』は32.5%と3人に1人程度。まだこれからという様子です。

◆2025年に大阪・関西万博が開催されることを…



◆大阪・関西万博のテーマの1つが「SDGs」であることを…

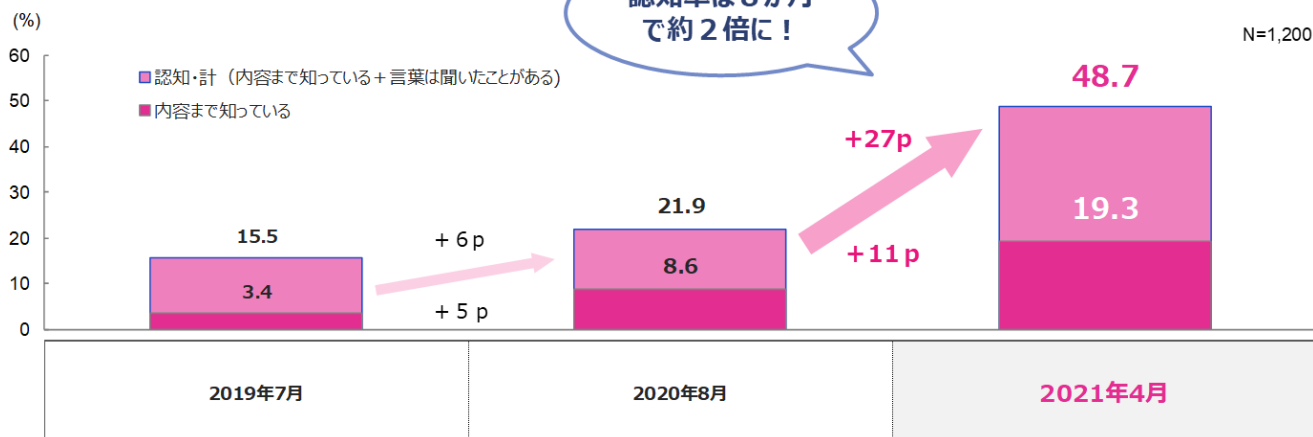


各N = 1,200（当社自主調査より）

※禁無断転載

SDGsの認知率は、2020年8月→2021年4月の8か月間で約2倍となり、48.7%と半数近くに。「内容まで知っている」も、19.3%とこの8か月で約2倍の伸びとなっています。

◆SDGsの認知率（当社自主調査より）



※禁無断転載

続きは「無料説明会（オンライン）」で！



お申込みはこちら！  
[nrc\\_sdgs@nrc.co.jp](mailto:nrc_sdgs@nrc.co.jp)

このほかにも、SDGsの浸透・推進に資するため、様々な自主調査を実施しています。

- ・2019年7月実施 「SDGsに関する一般生活者の認知・意識調査」
- ・2020年1月実施 「SDGsに関する一般生活者の購買・生活行動調査」
- ・2020年5月実施 社会的課題に関する生活者意識調査結果  
（前編）「生活者発想からのSDGsシズ」（後編）「社会的課題意識を育て、ビジネスの原動力に」
- ・2020年8月実施 SDGs・社会的課題に関する生活者意識調査  
「ESG投資を支える女性の『社会的期待』」「ESG投資関心層と従来型投資関心層比較」
- ・2020年11月実施 「社会課題や環境問題に取り組む企業に関する調査」

NRCLレポート公表ページ (<https://www.nrc.co.jp/report/>) でご覧いただけます。

ノ ス  
**NOS**（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）

8月実施分  
ご案内中！

50年以上にわたり、全国15～79歳の方1200名を対象に定期実施している訪問留置調査です。アンケートモニターやWeb調査ではなく、広く一般生活者に依頼し、「全国の縮図」になるようにデータ収集しています。

コロナ禍において、リサーチでもより「リアル」なデータの重要性が一層高まっています。この機に、御社でのリサーチ活動にぜひご活用ください。

ご活用例

- ・商品・広告：全国で、商品や広告がどのくらい認知・浸透しているか確認したい
- ・デジタル機器：パソコンやスマホの実際の保有状況を調査したい
- ・世論調査：社会や経済の状況について、広く生活者の意見を聴取したい
- ・エリア比較：各地域ブロックでの反応の違いを確認したい
- ・規模推計用データ：人口統計とのかけ合わせで、およその市場規模を推計したい など